ほぼ週刊コラム　Partnership論　その１９７

**シリーズ：『米国Partnership税制勉強会』**

**第二十五回勉強会（通年内容は**[**年表rev.9**](http://www.llc.ip.rcast.u-tokyo.ac.jp/Papers/evolution%20history/evolution%20history%20of%20US%20partnership%20taxation%20rev9.ppt)**参照方）の準備**

**powerがstate（国家）からnon-state actors（非国家actors）へとshiftする**

20160714 rev.1 齋藤旬

**休刊予定としていたが短く出すことにした**。というか『第四次産業革命』和訳作業の中で、「我が意を得たり」の表現をSchwabが使っている箇所に遭遇したのでその紹介をする。

**IR4（第四次産業革命）の和訳作業ファイルrev12を**[作業ファイル](http://www.llc.ip.rcast.u-tokyo.ac.jp/Papers/IR4/The%20Fourth%20Industrial%20Revolution%20by%20Klaus%20Schwab%20revX.docx)**に**アップしておいた。

3.3 National and Global　邦（ともがら）と地球世界 58

**3.3.1 Governments 58-62**

を和訳した。

**今週のpunch line：**

**「**governmentsが被る第四次産業革命のimpactをassessしようとするとまず思い浮かぶのは、digital technologiesを用いてより上手いgoverningができるだろうかということかもしれない。確かに、web technologiesをmore intense and innovativeに用いれば、public administrations（行政）の構造は近代化されその機能は全般に渡って向上するだろう。所謂e-governance（電子行政）により手続業務は円滑化され、透明性、説明責任、the government and its citizensの噛み合わせあるいは嵌合具合（engagement）は改善するだろう。しかしながらこの時governmentsは、powerがstate（国家）からnon-state actors（非国家actors）へとshiftするという事実も受け入れなければならない。governingは、確立した制度によるものから緩やかなnetworkによるものへとshiftする。即ちnew technologiesによりsocial groupingが諸々に行われ、そのgroupsがそのnew technologiesを介して様々にinteractionsを起こしていく。この状況では誰もが皆、数年前には想像だにしなかった方法で、virtuallyに影響力を行使しうる。（齋藤補遺：このvirtuallyも、「仮想的に」でなく「個別内発善によって」と和訳すべきだ。）」

**参考に挙がっていた『**[**権力の終焉**](https://www.amazon.co.jp/%E6%A8%A9%E5%8A%9B%E3%81%AE%E7%B5%82%E7%84%89-%E3%83%A2%E3%82%A4%E3%82%BB%E3%82%B9%E3%83%BB%E3%83%8A%E3%82%A4%E3%83%A0/dp/4822250989/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1468476529&sr=1-1&keywords=%E6%A8%A9%E5%8A%9B%E3%81%AE%E7%B5%82%E7%84%89) **The end of power』**もKindle本で原文と和訳を購入した。16日から9連休の夏休みなので、読むつもり。面白い箇所があれば紹介する。

今週は以上。来来週も請うご期待。